

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社味輝	記入日	2009/10/13
登録消費材名	パン粉・生パン粉		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

生産性の限界として、酵母の培養部門では毎年、気温と地温の上昇により、生産をしづらい環境となっています。このことが生産性の限界を感じる部分です。
小麦粉の安定供給のために産地と1次加工者との太いパイプ作り。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

社員教育としてOFF J Tを繰り返して来た結果、独自の教育方法など話し合う機会が増えました。このことはミーティング開催時でも年々成果が少しずつ見えてくるようになりました。社員研修がきめ細くなることは少し負担がかかりますが、事故がない消費材作りという大きな成果の第1歩と考えています。今後は更にどのような進め方がより良いか会議主務者と話し合っていき、課題や問題意識と問題点の洗い出しが今後の課題です。
小麦粉1次加工生産者との太いパイプ作りが、小麦粉の安定的な取り組みができる第1歩となって成果として現れています。小麦粉の需要が大きく、国産小麦粉が不足傾向にある中でも1年間、不足しなかったことはその表れであったと思います。
糀仕込みは昨年度試作を行いました。
2009年冬も糀の仕込み試作を行い、天然酵母の安定とさらにトレース可能な酵母作りを進めていきます。
デジタルトレース(*)をパン粉部門で進めています。全品目化まで難しい課題が残されていますが、ひとつのデジタルトレースの形ができました。
*デジタルトレースとは原材料のロット管理とその出荷ロットまでの使用履歴の管理です。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

定期的な人員配置転換。そして人的な管理で取りこぼしてしまう部分のマニュアル化とシステム化により無事故で出荷すること。
研修の昇華と充実。
デジタルトレースの守備範囲を更に広げ、全部の出荷アイテムの使用履歴が追えることを目標とします。
糀の製造を少しずつ始めていきます。